

# 学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	美 術	実施学年	3 年	週時数	1 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

## 1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1)主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲を高める。</p> <p>(2)対象を深く見つめる力、感性や想像力を養い、独創的・総合的な見方、考え方を培う。豊かに発想し構想する能力や、工夫し創造的に表現することができる。</p> <p>(3)生活の中の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさを味わう鑑賞をすることができる。</p>
使用教科書・副教材等	開隆堂出版 美術 2・3

## 2 学習計画及び評価方法等 <6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評価の観点
第 1 学期	6	オリエンテーション	3年生の年間の学習内容を知る。	プリント	活動状況(関心・意欲・態度)
		「祈りの造形－仏像の美」	・仏像に込められた願いや思いを考えて鑑賞する。 (休校中課題の解説、まとめ)	参考資料 写真・映像 教科書	発言・発表(関心・意欲・態度、鑑賞) ワークシート(鑑賞)
		「絵巻物の世界」(鳥獣人物戯画)	・我が国の美術文化の一つである絵巻物などの物語表現を理解し、そのよさや効果を学ぶ。 (休校中課題の解説、まとめ)	参考資料 写真・映像 教科書	
	7	「木でつくる工芸」(印箱)	・材料のよさや美しさを生かして、生活の中で使用するものを主体的に表現する。	教科書 ワークシート	毎時の制作態度・持ち物(関心・意欲・態度) アイデアスケッチ、ワークシート(意欲、発想・構想) 制作過程(意欲、発想・構想、技能)
第 2 学期	9	「木でつくる工芸」(印箱) (1学期からの続き)	・材料のよさや美しさを生かして、生活の中で使用するものを主体的に表現する。 ・学んだ美術の用語を使って文章で表現する。	参考作品 彫刻刀の使い方	活動状況(関心・意欲・態度) 毎時の制作態度・持ち物(関心・意欲・態度) 完成作品(意欲、発想・構想、技能)
		「自作を語る」	・作品を通して仲間を知る。		ワークシート(鑑賞)
	10	「自分と向き合う」(自画像)	・自分自身をよく観察し、特徴を捉えたり気に入っている姿を強調したりして表現する。	参考資料 画像、表現材料 ワークシート	活動状況(関心・意欲・態度) 毎時の制作態度・持ち物(関心・意欲・態度) 完成作品(意欲、発想・構想、技能)
	11				
	12	「自作を語る」	・作品を通して仲間を知る。		ワークシート(鑑賞)

第3学期	1	「ルネサンスの芸術」 (鑑賞)	・ルネサンス美術について鑑賞し、作品の意味や作者の心情を考えながら時代背景などの理解を深める。	参考資料	発言・発表(関心・意欲・態度、鑑賞) 毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度、鑑賞) ワークシート(鑑賞)
	2	静物画 (ピンを描く)	・透明なピンに注目して表現する。		毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度、鑑賞)
	3				

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術への関心・意欲・態度…事前の準備や制作態度、作品の完成度、忘れ物の有無、発言や発表の内容・態度、自己評価カード</li> <li>・発想や構想の能力…ワークシート、アイデアスケッチ、制作過程での発想・構想</li> <li>・創造的な技能…アイデアスケッチ、制作過程での技能的な工夫、完成作品</li> <li>・鑑賞の能力…鑑賞授業での発言・発表、鑑賞ワークシート</li> </ul> <p>(※今年度、話す活動については十分な配慮の上、実施していきます。)</p>
------	---

### 3 (1) 評価の観点及び内容

評価の観点及び内容	
美術への関心・意欲・態度	身近なもの、美術作品などのよさや美しさ、美術文化や文化遺産などに対する関心を高め、自分の良さを生かして表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組み、心豊かな生活を創造していこうとする。
発想や構想能力	感性や想像力を働かせて対象や物事を深く見つめ、そのよさや美しさを感じ取ったり、考えたりする。用途や機能を考え、独創的かつ豊かに発想し、創造的な表現を工夫構想する。
創造的な技能	感じ取ったことなどをスケッチに表し、想像力や創造的な技能などを働かせ、表現意図に合う新たな表現方法を研究するなどして創意工夫し、創造的に表す。
鑑賞の能力	美術作品や生活の中の造形、美術文化や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、想像力の豊かさなどを味わったり、理解や見方を深めたりする。また、自分の作品についても考えをまとめられる。

### (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点